



平成23年2月4日

各 位

会 社 名 スターツコーポレーション株式会社

代表者名 代表取締役社長 河野 一孝

(JASDAQ・コード 8850)

問合せ先

役職・氏名 経理部長 村松 久行

電 話 03-6202-0377

当該子会社（スターツ出版株式会社）の業績予想の修正について

当該子会社でありますスターツ出版株式会社は、平成22年2月12日に公表いたしました平成22年12月期（平成22年1月1日～平成22年12月31日）の通期業績予想につきまして、別紙資料のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、当該修正に伴います当社の連結業績に及ぼす影響は軽微であります。

以 上

各位

上場会社名 スターツ出版株式会社
 代表者 代表取締役社長 菊地修一
 (コード番号 7849)
 問合せ先責任者 執行役員管理部長 金子弘
 (TEL 03-6202-0311)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年2月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,600	200	230	120	6,250.00
今回発表予想(B)	3,522	290	310	180	9,375.00
増減額(B-A)	△78	90	80	60	
増減率(%)	△2.2	45.0	34.8	50.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年12月期)	3,353	171	204	112	5,882.00

修正の理由

売上高につきましては、雑誌を含む紙系メディアの広告売上において大幅な減少があったものの、収益性の高いインターネット事業における手数料収入や「ケータイ小説」と呼ばれる読者層を絞った書籍商品の販売が想定より好調に推移いたしました。一方、原価や経費の面においては、前期より継続的に実施してまいりました制作費や印刷費などのコスト削減も通期を通して利益の押上に貢献しました。また、当初予定していた広告宣伝費も費用対効果を考慮し、よりターゲットを絞り込んだ宣伝方法に変更する事により、全体的な費用を抑制する結果となりました。

その結果、売上高につきましては前回発表予想を78百万円下回り3,522百万円となる見込みであります。営業利益は90百万円上回り290百万円に、経常利益は80百万円上回り310百万円に、当期純利益は60百万円上回り180百万円となる見込みとなり、収益面においては当初の予想を上回る見込みであります。

* 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上